

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	1年次前期・後期
科目名称	社会科学Ⅰ・Ⅱ	履修	必履修
担当講師	古澤 克己		
担当講師の実務経験の有無	○無・有()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	140 (Ⅰ:64、Ⅱ:76)		単位時間
授業計画	4月	政治:民主政治の原理と歴史	
	5月	政治:日本国憲法、基本的人権の歴史	
	6月	政治:国会、内閣、裁判所	
	7月	政治:政党政治と選挙、地方自治、国際政治	
	8月	経済:経済社会の変容と諸学説	
	9月	経済:現代の企業と市場、国民所得と経済成長・景気循環	
	10月	経済:金融、財政	
	11月	日本経済の性格と課題、国際経済	
	12月	労働問題と社会保障	
	1月	社会:現代社会における人間と文化、環境と人間生活	
	2月	問題演習	
	3月	問題演習	
授業概要	政治・経済・社会分野の基本的事項を学習する。		
授業目標	政治・経済・社会分野の基本的事項の理解と知識の定着を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	1年次前期・後期
科目名称	人文科学Ⅰ・Ⅱ	履修	必履修
担当講師	秋庭 裕史		
担当講師の実務経験の有無	○無・有()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	156 (Ⅰ:80、Ⅱ:76)		単位時間
授業計画	4月	世界史(古代、ギリシャ・ローマ文明)	
	5月	世界史(中世～近世)	
	6月	世界史(近世～近代)	
	7月	世界史(中国史、イスラム史)、期末試験	
	8月	日本史(古代)	
	9月	日本史(中世)、期末試験	
	10月	日本史(武家社会)	
	11月	日本史(江戸時代)	
	12月	日本史(明治時代)	
	1月	地理(世界地理)	
	2月	地理(日本地理)	
	3月	演習、期末試験	
授業概要	世界史・日本史・地理分野の基本的事項を学習する。		
授業目標	世界史・日本史・地理分野の基本的事項の理解と知識の定着を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	1年次前期・後期
科目名称	自然科学 I・II	履修	必履修
担当講師	高橋 勝徳		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	140 (I :64、 II :76)		単位時間
授業計画	4月	生物:細胞、組織と器官	
	5月	生物:物質交代とエネルギー交代、恒常性と調節、生殖と発生	
	6月	生物:生殖と発生、遺伝	
	7月	生物:刺激と反応、生態系	
	8月	物理:物体の運動	
	9月	物理:力のつりあい、衝突とエネルギー 期末試験	
	10月	物理:衝突とエネルギー	
	11月	物理:電気と磁気、波動	
	12月	物理:原子物理	
	1月	化学:物質の構造、化学反応	
	2月	化学:物質の状態、酸・塩基・塩	
	3月	化学:酸化・還元、物質の性質 期末試験	
授業概要	生物・物理・化学分野の基本的事項を学習する。		
授業目標	生物・物理・化学の基本的事項の理解と知識の定着を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	1年次後期
科目名称	現代史 I	履修	必履修
担当講師	阿部 智洋		
担当講師の 実務経験の有無	(無) 有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	36		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	冷たい戦争	
	11月	第三世界の台頭	
	12月	冷戦終結後の世界	
	1月	戦後日本①(1950～1960年代)	
	2月	戦後日本②(1970～1990年代)	
	3月	戦後日本③(1990～2000年代) 期末試験	
	授業概要	第二次世界大戦後の世界および日本の歴史を学習する。	
授業目標	現代史の基本的な知識を習得し、理解することを目的とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	1年次後期
科目名称	数学 I	履修	必履修
担当講師	阿部 智洋		
担当講師の実務経験の有無	(無)・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	18		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	数と式	
	11月	方程式と不等式	
	12月	関数とグラフ	
	1月	図形と方程式	
	2月	平面図形	
	3月	微分と積分 期末試験	
授業概要	<p>基礎的な数学を学習することで、次の3つを身につけていく。①基本的な公式や定理を用いて計算によって答えを導く。②論理的な思考力を用いて答えを導く。③図形的な直観力を用いて答えを導く。</p>		
授業目標	上記①②③の定着を目標とする。		
成績評価	<p>履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。</p>		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	1年次前期・後期
科目名称	論理推論Ⅰ・Ⅱ	履修	必履修
担当講師	菟澤 理恵		
担当講師の 実務経験の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 ・ 有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	232 (Ⅰ:128、Ⅱ:104)		単位時間
授業計画	4月	論理命題、集合	
	5月	虫食算、魔法陣、暗号	
	6月	暦、類推、方位・位置	
	7月	順序・比較・計算、試合と勝敗、手順問題	
	8月	論理推論基本問題	
	9月	論理推論基本問題	
	10月	論理推論基本問題	
	11月	論理推論基本問題	
	12月	論理推論基本問題	
	1月	論理推論実戦問題	
	2月	論理推論実戦問題	
	3月	論理推論実戦問題	
授業概要	公務員試験特有の試験科目である課題処理について、論理的思考力と共にその解法を学ぶ。		
授業目標	論理的思考力のトレーニングと解法の理解を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	1年次前期・後期
科目名称	数理推論Ⅰ・Ⅱ	履修	必履修
担当講師	梶澤 理恵		
担当講師の実務経験の有無	○無・有()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	264 (Ⅰ:140、Ⅱ:124)		単位時間
授業計画	4月	時間・距離・速さ、時計算、仕事算	
	5月	比・割合、濃度、測量	
	6月	平均、年齢算、数	
	7月	順列・組合せ・確率、図形	
	8月	数理推論基本問題	
	9月	数理推論基本問題	
	10月	数理推論基本問題	
	11月	数理推論基本問題	
	12月	数理推論基本問題	
	1月	数理推論実戦問題	
	2月	数理推論実戦問題	
	3月	数理推論実戦問題	
授業概要	公務員試験特有の試験科目である数的処理について、数理的思考力と共にその解法を学ぶ。		
授業目標	数理的思考力のトレーニングと解法の理解を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	1年次前期・後期
科目名称	文章理解 I・II	履修	必履修
担当講師	菟澤 理恵		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	128 (I :52、II :76)		単位時間
授業計画	4月	文章読解の基礎、読解基礎問題	
	5月	文章読解の基礎、読解基礎問題	
	6月	文章読解の発展、読解発展問題	
	7月	文章読解の発展、読解発展問題	
	8月	論作文の書き方、論作文演習	
	9月	論作文演習 期末試験	
	10月	論作文演習、読解総合問題演習	
	11月	論作文演習、読解総合問題演習	
	12月	論作文演習、読解総合問題演習	
	1月	論作文演習、読解総合問題演習	
	2月	論作文演習、読解総合問題演習	
	3月	論作文演習、読解総合問題演習 期末試験	
授業概要	論作文の基本的技術を身につけ、問題演習を通じて文章読解力を養う。		
授業目標	論作文の基本的技術と文章読解力の定着を目的とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	1年次前期
科目名称	商業簿記	履修	必履修
担当講師	古澤 克己、秋庭 裕史		
担当講師の 実務経験の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 ・ <input type="radio"/> 有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	80		単位時間
授業計画	4月	仕訳、主要簿・補助簿の記帳	
	5月	試算表、精算表、財務諸表、伝票計算、その他	
	6月	問題演習	
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要	日本商工会議所主催簿記検定3級の学習を通じ、商業簿記の基本と帳簿への勘定記入の仕組みを学ぶ。	
授業目標	商業簿記について基本的な帳簿への記入ができることと日本商工会議所主催簿記検定3級合格を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	1年次前期・後期
科目名称	コンピュータリテラシーⅠ・Ⅱ	履修	必履修
担当講師	佐々木 真弓		
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習
単位時間数	44 (Ⅰ:24、Ⅱ:20)		単位時間
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	コンピュータ入力基礎	
	7月	文書処理技能検定対策	
	8月	文書処理技能検定対策	
	9月	文書処理技能検定対策	
	10月	文書処理技能検定対策	
	11月	文書処理技能検定対策	
	12月	文書処理技能検定対策	
	1月	/	
	2月	/	
	3月	/	
	授業概要	パソコンを用いた日常的な文書処理の知識および技能の習得を行う。	
授業目標	Word検定3級の取得を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	1年次前期・後期
科目名称	選択授業 I-A・II-A	履修	選択必修
担当講師	三浦 貴之、藁澤 理恵、秋庭 裕史		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	62 (I-A:24、II-A:38)		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月	自然科学 又は SPI対策講座	
	7月	自然科学 又は SPI対策講座	
	8月	自然科学 又は SPI対策講座	
	9月	自然科学 又は SPI対策講座	
	10月	人文科学 又は SPI対策講座	
	11月	人文科学 又は SPI対策講座	
	12月	人文科学 又は SPI対策講座	
	1月	人文科学 又は SPI対策講座	
	2月	人文科学 又は SPI対策講座	
	3月	人文科学 又は SPI対策講座	
	授業概要	自然科学・人文科学又はSPI対策講座を学生自身の進路希望に応じて任意選択して学習をする。	
授業目標	各科目で学習する知識の習得や検定合格などを目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	1年次前期・後期
科目名称	選択授業 I-B・II-B	履修	選択必修
担当講師	三浦 貴之、東海林 千秋、秋庭 裕史		
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	62 (I-B:24、II-B:38)		単位時間
授業計画	4月	(斜線表示)	
	5月	(斜線表示)	
	6月	人文科学 又は ビジネスマナー講座	
	7月	人文科学 又は ビジネスマナー講座	
	8月	人文科学 又は ビジネスマナー講座	
	9月	人文科学 又は ビジネスマナー講座	
	10月	自然科学 又は ビジネスマナー講座	
	11月	自然科学 又は ビジネスマナー講座	
	12月	自然科学 又は ビジネスマナー講座	
	1月	自然科学 又は ビジネスマナー講座	
	2月	自然科学 又は ビジネスマナー講座	
	3月	自然科学 又は ビジネスマナー講座	
	授業概要	人文科学・自然科学又はビジネスマナー講座を学生自身の進路希望に応じて任意選択して学習をする。	
授業目標	各科目で学習する知識の習得や検定合格などを目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	1年次前期・後期
科目名称	キャリア研究Ⅰ・Ⅱ	履修	必履修
担当講師	梶澤 理恵、古澤 克己		
担当講師の 実務経験の有無	○ 無 ・ 有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	78 (キャリア研究Ⅰ:40、キャリア研究Ⅱ:38)		単位時間
授業計画	4月	国家行政組織研究	
	5月	国家行政組織研究	
	6月	地方行政組織研究	
	7月	地方行政組織研究	
	8月	公安系職種研究	
	9月	鉄道関係職種研究、郵政関係職業研究	
	10月	希望進路に基づく自由研究	
	11月	希望進路に基づく自由研究	
	12月	希望進路に基づく自由研究	
	1月	希望進路に基づく自由研究	
	2月	希望進路に基づく自由研究	
	3月	希望進路に基づく自由研究	
授業概要	我が国の主な行政組織や民間企業について、その組織概要や特色、人事制度などについて研究をして理解をする。また、後期には、これまでの研究を活かして、自己の進路希望に応じて自由研究を行う。		
授業目標	我が国の主な行政組織や民間企業についての理解と、自己の進路希望に基づく自由研究の達成を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	2年次前期
科目名称	社会科学演習	履修	必履修
担当講師	古澤 克己		
担当講師の 実務経験の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習
単位時間数	120		単位時間
授業計画	4月	基本問題演習	
	5月	基本問題演習	
	6月	応用問題演習	
	7月	応用問題演習	
	8月	発展問題演習	
	9月	発展問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	社会科学で学習した基本的事項を確認し、出題傾向を分析しながら演習を行う。		
授業目標	社会科学の基本的事項の知識の定着を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準] 100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	2年次前期
科目名称	人文科学演習	履修	必履修
担当講師	阿部 智洋		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習
単位時間数	132		単位時間
授業計画	4月	基本問題演習	
	5月	基本問題演習	
	6月	応用問題演習	
	7月	応用問題演習	
	8月	発展問題演習	
	9月	発展問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	人文科学で学習した基本的事項を確認し、出題傾向を分析しながら演習を行う。		
授業目標	人文科学の基本的事項の知識の定着を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	2年次前期
科目名称	自然科学演習	履修	必履修
担当講師	三浦 貴之		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習
単位時間数	132		単位時間
授業計画	4月	基本問題演習	
	5月	基本問題演習	
	6月	応用問題演習	
	7月	応用問題演習	
	8月	発展問題演習	
	9月	発展問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	自然科学で学習した基本的事項を確認し、出題傾向を分析しながら演習を行う。		
授業目標	自然科学の基本的事項の知識の定着を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	2年次前期
科目名称	論理推論演習	履修	必履修
担当講師	阿部 智洋		
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習
単位時間数	120		単位時間
授業計画	4月	基本問題演習	
	5月	基本問題演習	
	6月	応用問題演習	
	7月	応用問題演習	
	8月	発展問題演習	
	9月	発展問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	論理推論で学習した基本的事項を確認し、出題傾向を分析しながら演習を行う。		
授業目標	演習を通じて、論理的思考力の向上を図り、応用問題に対応できることを目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	2年次前期
科目名称	数理推論演習	履修	必履修
担当講師	阿部 智洋		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習
単位時間数	120		単位時間
授業計画	4月	基本問題演習	
	5月	基本問題演習	
	6月	応用問題演習	
	7月	応用問題演習	
	8月	発展問題演習	
	9月	発展問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	数的推理で学習した基本的事項を確認し、出題傾向を分析しながら演習を行う。		
授業目標	演習を通じて数的思考力の向上をはかり、応用問題に対応できることを目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準] 100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	2年次後期
科目名称	文章演習	履修	必履修
担当講師	田村 芳昭		
担当講師の 実務経験の有無	無・ <input checked="" type="radio"/> 有 ()		
開講曜日	月～金	授業の方法	演習
単位時間数	120		単位時間
授業計画	4月	論作文演習、読解総合問題演習	
	5月	論作文演習、読解総合問題演習	
	6月	論作文演習、読解総合問題演習	
	7月	論作文演習、読解応用問題演習	
	8月	論作文演習、読解応用問題演習	
	9月	論作文演習、読解応用問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	文章理解Ⅰ、Ⅱで学んだことを活かし、論作文の基本的、応用的技術を向上させ、問題演習を通じて文章読解力の向上を図る。		
授業目標	論作文の基本的、応用的技術を身につけ、文章読解力の向上を目的とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	2年次前期
科目名称	時事問題研究	履修	必履修
担当講師	阿部 智洋		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	28		単位時間
授業計画	4月	日本政治、国際政治情勢	
	5月	日本経済、経済政策	
	6月	財政、世界経済	
	7月	労働、文部科学	
	8月	環境、司法警察	
	9月	社会問題全般、問題演習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	時事問題について、その原因や理由を把握し、現在の状況などを理解する。		
授業目標	時事問題を理解することを目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準] 100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	2年次前期
科目名称	選択研究Ⅲ	履修	必履修
担当講師	阿部 智洋・三浦 貴之		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	28		単位時間
授業計画	4月	希望進路に基づき、行政機関や民間企業の業務・取組みなどを研究	
	5月	希望進路に基づき、行政機関や民間企業の業務・取組みなどを研究	
	6月	希望進路に基づき、行政機関や民間企業の業務・取組みなどを研究	
	7月	希望進路に基づき、行政機関や民間企業の業務・取組みなどを研究	
	8月	希望進路に基づき、行政機関や民間企業の業務・取組みなどを研究	
	9月	希望進路に基づき、行政機関や民間企業の業務・取組みなどを研究	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	希望進路に基づき、行政機関や民間企業の業務や取組みなどについて研究をして理解をする。		
授業目標	自己の進路希望に基づく研究の達成を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	2年後期
科目名称	ビジネス講座	履修	必修
担当講師	阿部 智洋、三浦 貴之		
担当講師の実務経験の有無	○無 ・ 有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	112		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	度量衡の換算、純量対価の計算	
	11月	商品売買、試算表	
	12月	手数料、割引料の計算	
	1月	商品有高帳、その他商業計算	
	2月	伝票計算、計算問題演習	
	3月		
授業概要	ビジネス社会において、最も重要な技能である経理知識・技術などについて学習をする。		
授業目標	基本的な経理知識・技術の習得を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	2年後期
科目名称	ビジネス文書	履修	必修
担当講師	阿部 智洋、三浦 貴之		
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	112		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	社会人の心構え、求められる素質	
	11月	社会常識	
	12月	ビジネスマナー、接遇一般	
	1月	ビジネスマナー、接遇一般	
	2月	ビジネス文書の定型文、文書取扱、資料やグラフの見方	
	3月		
	授業概要	ビジネス文書作成知識を学ぶのみならず、社会常識や一般的なビジネスマナーや接遇マナーについて学習する。	
授業目標	一般的なビジネスマナーや接遇マナーを身につけ、基本的なビジネス文書作成知識の習得を目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	2年後期
科目名称	法学概論	履修	必履修
担当講師	阿部 智洋、三浦 貴之		
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	28		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	ライフプランニングと資産計算、リスクマネジメント	
	11月	金資産運用、タックスプランニング	
	12月	財産法概論、不動産	
	1月	相続に関する法知識	
	2月	年金・社会保険制度概論	
	3月		
	授業概要	財産法知識や税制度、年金・社会保障について広く学習する。	
授業目標	財産法や租税、社会保障についての基礎的な知識を身につけるのが目標である。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	2年後期
科目名称	コンピュータリテラシー	履修	必修
担当講師	佐々木 真弓		
担当講師の実務経験の有無	○ 無 ・ 有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習
単位時間数	56		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	表計算ソフトの基本操作	
	11月	表計算ソフトの基本操作	
	12月	表計算ソフトの応用技能	
	1月	表計算ソフトを用いた文書の作成(基本)	
	2月	表計算ソフトを用いた文書の作成(応用)、期末試験	
	3月		
	授業概要	表計算ソフトの技能を学習する。	
授業目標	表計算ソフトの操作、技能を定着させる。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2019年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	2年後期
科目名称	総合講座A・B	履修	必履修
担当講師	各講座毎で担当講師が異なるため未記載		
担当講師の実務経験の有無	(無)・有 ()		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	112 (A:56、B:56)		単位時間
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	/	
	7月	/	
	8月	/	
	9月	/	
	10月	各選択科目で講義・演習	
	11月	各選択科目で講義・演習	
	12月	各選択科目で講義・演習	
	1月	各選択科目で講義・演習	
	2月	各選択科目で講義・演習	
	3月	各選択科目で講義・演習	
授業概要	選択科目A・B毎で1科目ずつ合計2科目を任意選択して学習をする。毎年度で開講科目は異なるが、例として法律系選択科目・コンピュータ系選択科目、語学系選択科目、ビジネス系選択科目などで構成される。		
授業目標	各選択科目で学習する知識の習得や検定合格などを目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		